

# Lagrangian point -To Form-

「ラグランジュポイント※ - トゥー・フォーム -」

本展は愛知県立芸術大学油画専攻の在学および卒業生による展覧会として企画したものであり、日本の中間地点「愛知」という場所を「ラグランジュポイント」と名付け、彼らが思考したこと、表現しつつあるものを紹介する企画です。

3回目となる本展では、副題を「トゥー・フォーム」として絵画や版画、インスタレーションを展開する3人の作家を紹介いたします。

目に見えない、しかしながら「ある」という感覚を銅版画で描こうとする箱山 朋実、無意識の感覚や痕跡をスクラッチで表現する市ノ澤 萌々子、「感覚の鈍くなる空間」をつくりたいと話す亀倉知恵。

彼女達が共に語る「感覚」-目に見えない「何か」について-の試みは表現する事へのプリミティブな眼差しであり、「それは何か？」を考えることは私たちの存在そのものを考えることでもあります。その根源的、原始的な眼差しをそのままに形に置き換えようとする彼女達はひょっとすると「ラグランジュポイント」としての魅力そのものかもしれません。

彼女達が探求する『目に見えない「何か」』について思考する機会になればと考えています。

(大崎 のぶゆき／美術家)

※ラグランジュポイント／天体力学で円制限三体問題の5つの平衡解。

## 箱山 朋実 / Tomomi Hakoyama

1990年愛知生まれ。

現在 愛知県立芸術大学大学院美術研究科 油画・版画領域 二年度 在籍

[主なグループ展]

2015年 「オバケに100回触れてみる」愛知県美術館ギャラリー J室/愛知、florist\_gallery N/愛知

- .. 「第40回全国大学版画展」町田市立国際版画美術館/東京 収蔵賞
- .. 「第9回 大学版画展 受賞者展」文房堂ギャラリー/東京
- .. 「2015〜」愛知県立芸術大学芸術資料館/愛知
- .. 「INDIRECT'15」愛知県立芸術大学サテライトギャラリー /愛知

2014年 「第39回全国大学版画展」町田市立国際版画美術館/東京 収蔵賞

- .. 「〜2014」愛知県立芸術大学芸術資料館/愛知

2013年 「第38回全国大学版画展」町田市立国際版画美術館/東京

- .. 「plat form」名古屋市民ギャラリー-矢田/愛知
- .. 「交差する版画2013」名古屋造形大学D1,D2,D3ギャラリー/愛知

2012年 「460人展」名古屋市民ギャラリー-矢田/愛知

[パブリックコレクション]

町田市立国際版画美術館

目に見えないけれど "ある" と直感し、そしてそれが大切なものだ知っている。それを人に伝えたいのに言葉ではうまく説明できず、またささやき声のようにさりげないためにいつの間にか忘れてしまう。そんな事柄をなんとかして記録したいと考えています。作品を作るということを通してならばその方法を見つけ出せるのではないかと考え、制作しています。

それ、はまるでオバケのようです。目に見えないだけではなく、よくわからないからです。私が "ある" と感じるということは、あなたにも "ある" と感じてもらえるかどうかかわからない。そもそも、私の中の秤が "ある" ものことだけを "ある" と感じ取っているのか疑わしい。本当に "ある" のがよくわからないのです。私は、このわからなさまでできるだけ誠実に観察し、私が何をわかっていて何をわからないでいるのか知りたい。そして、このオバケに血や肉をあげて体を作ってやりたい。このオバケへの親しみをなんとと言ったらいいかわかりませんが、生き生きとしたその姿を見たいと思います。

### h 01 話しのさわり

2015 銅版、紙、インク  
210mm×297mm

### h 02 心臓

2016 銅版、紙、インク、木製フレーム  
サイズ可変 (1568mm×1128mm×5点)

## 亀倉 知恵 / Chie kamekura

1992年 新潟県生まれ

2013年 愛知県立芸術大学美術学部入学

2015年 公募展TETHUSON2015(3331Arts Chiyoda/東京)

現在 愛知県立芸術大学美術学部油画科3年在籍

感覚が機能しなくなるような鈍くなる空間を作り出したい。「感覚の鈍くなる空間」とは、例えば雪壁やダム、巨大な砂山などの前に立ったとき、物質のあり方に圧倒される瞬間のことである。またこの空間は時に蛍光灯に照らされた植物の生々しい緑に出会ったときのような、非日常以外の場でも似たような感覚に出会うことがある。場と物質から作られる空間の関係性を、作品を通じて探っている。

### k 01 白

2016 角砂糖  
900mm×900mm

### k 02 呼吸

2016 コンクリートブロック、ステンレスパイプ、砂  
950mm×490mm×490mm

## 市ノ澤 萌々子 / Momoko Ichinosawa

1992年 大阪府生まれ

2015年 愛知県立芸術大学 美術学部油画専攻 在学中

感じたことを感じたままに伝えることはとても難しい。

不安定な音程のボーカルにズンドコドラム、これが美しいのです。

自分の考え方を理解してくれるのが同じ言葉を話す人ではなく、全く別の話す人である場合もあるのかもしれない。

空想の世界から離れなければならなかった。苦しみのなかで穏やかな気持ちを取り戻すためにはそうする必要があったのだ。

空想は時の経過と共にこの世から完全に消えてしまうわけではない、無意識といったかたちで常にどこかに潜んでいる、空想のドキュメンタリー。

### i 01 longevity

2016 油絵の具、キャンバス、木材  
2150mm×2050mm

### i 02 chopsticks set1

2015 木  
190mm×200mm

### i 03 chopsticks set2

2015 木  
200mm×190mm

### i 04 yubune

2016 線香、石膏板  
インスタレーションサイズ

